

【第2（最終）報】E1A伊勢湾岸自動車道における規制撤去作業中の標識車自損事故について

【発生日時】 2025年1月30日（木） 3：05頃

【発生場所】 E1A伊勢湾岸自動車道 豊田東IC～豊田東JCT 上り線 0.8kp付近

【工事件名】 2024年度 東名高速道路 ■管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】

路肩の規制標識撤去後、本線合流のため路肩を加速しながら走行していた際に、助手席側ミラーにススキが接触。その反動でミラーが窓ガラスに接触し、窓ガラス及びバイザーが破損したもの。サイドミラーが衝撃によりバイザーとガラス位置まで可動して損傷に至ったとを確認。ドライブレコーダーは何らかの不具合で記録が残されていなかった。

【被害状況】

人的被害：なし

物的被害：標識車1台（NEXCO貸与） 助手席側窓ガラス及びバイザー破損

【時系列】

1月30日（木）

3：05頃 事象発生

3：20頃 現場→メンテ当番 事象報告

3：30頃 メンテ当番→NEXCO当番 事象報告

13：30頃 緊急安全大会

【マスコミ報道】 なし

【位置図】



【車両損傷状況】



標識車（全景）



窓ガラス破損



バイザー破損

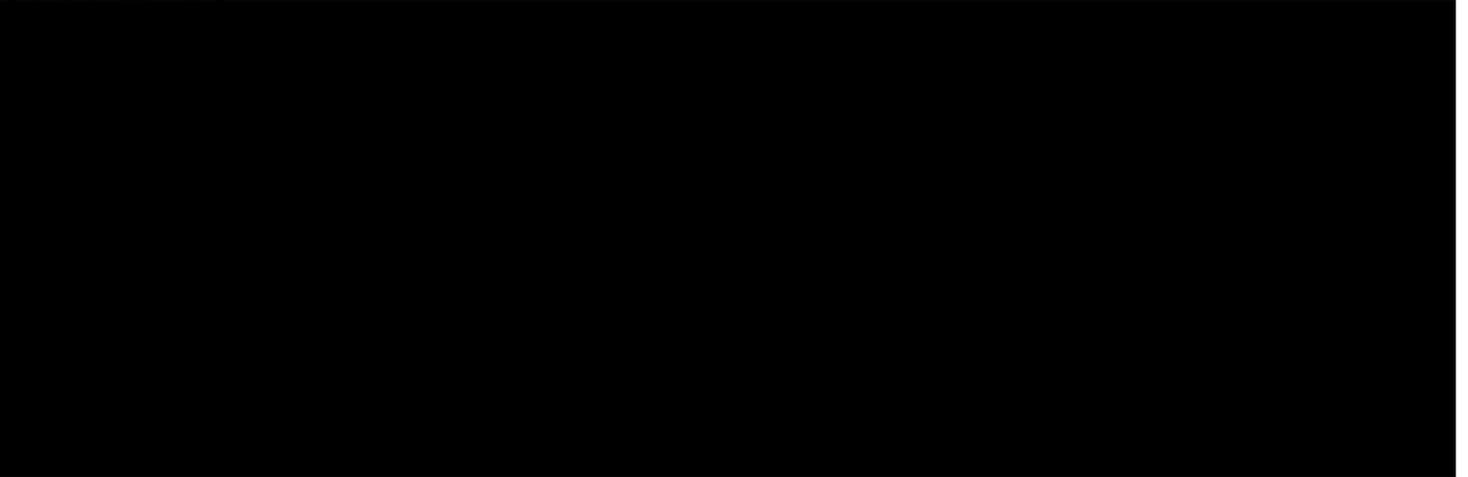
【接触箇所】



サイドミラーが衝撃によりバイザーとガラス位置まで可動したことを確認



【緊急安全大会】



【原因】

路肩から本線へ合流するため、後方確認に気を取られ、前方不注意になってしまった。
ススキが繁茂している認識はあったが、少しくらい接触しても大丈夫だと思っていた。
ススキが繁茂し、建築限界を侵している状況であった。
サイドミラー取り付け部が緩くなっていた可能性があった。

【対策】

進行する前方等周囲の安全確認も十分に行うよう周知・徹底する。
サイドミラーにススキ等が接触した場合、ミラーが動き、車両が破損する可能性があることを認識させる。
建築限界を侵しているススキの伐採を実施し、危険箇所を減らす。
始業前点検時にサイドミラー取付部の点検も実施する。
年度内より草刈りを実施していくこと、次年度も継続して草刈りを実施することでNEXCOと調整済み